

身近な暮らしから 木質バイオマス利用をカスタマイズ

吉野小水力利用推進協議会

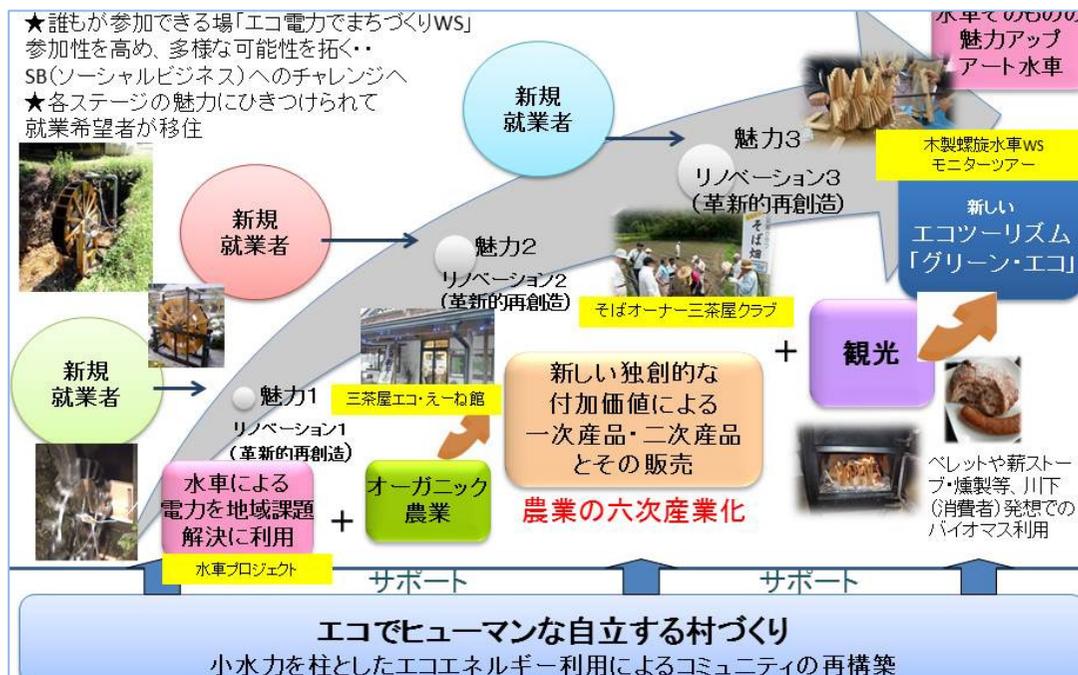


《背景》

- ・小水力利用を柱とした再生可能エネルギーの導入による地域の活性化をめざす。
- ・水車の動力で製材しコストダウンを図っている例から発想。
- ・水路ウォッチで山の現状を知る。

《提案》

- ・木のある暮らし。燃料や香りや楽しさを実感したいという消費者は増えています。
- ・わたしたちは生活の場からの、消費者(カスタマー)目線で、バイオマスの利用を提案します。
- ・たとえば、燃料となる薪やペレットには、様々な樹種であったり、薬草をブレンドしたりして香りも楽しめる、おしゃれな暮らしを総合的に提案していきたいです。



木と火と水のある暮らし

- なんとん暖炉



ロケットストーブの原理で燃焼効率が高く針葉樹が燃やせる。クッキングストーブ。



温度差発電



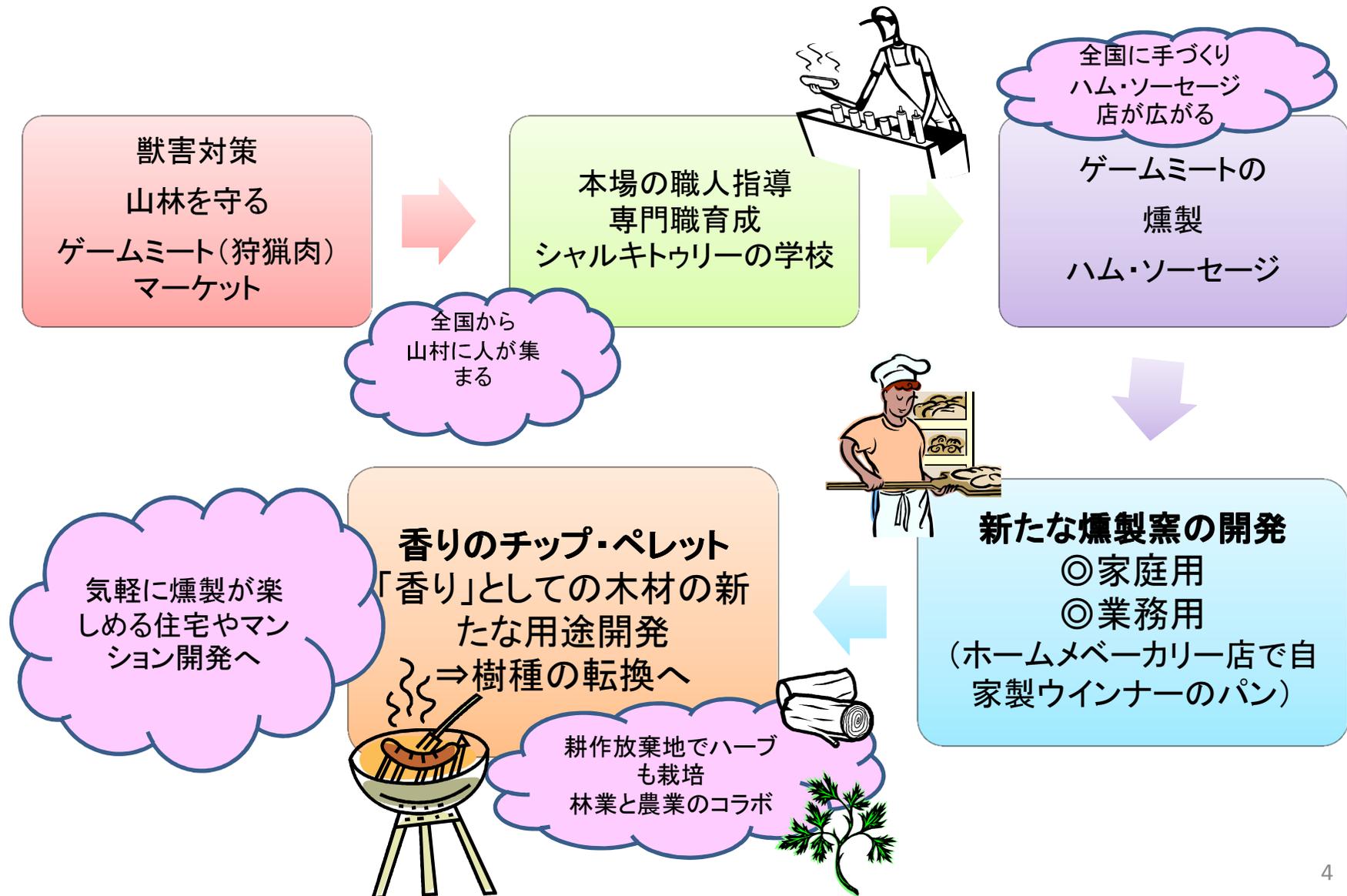
- ペレットストーブ



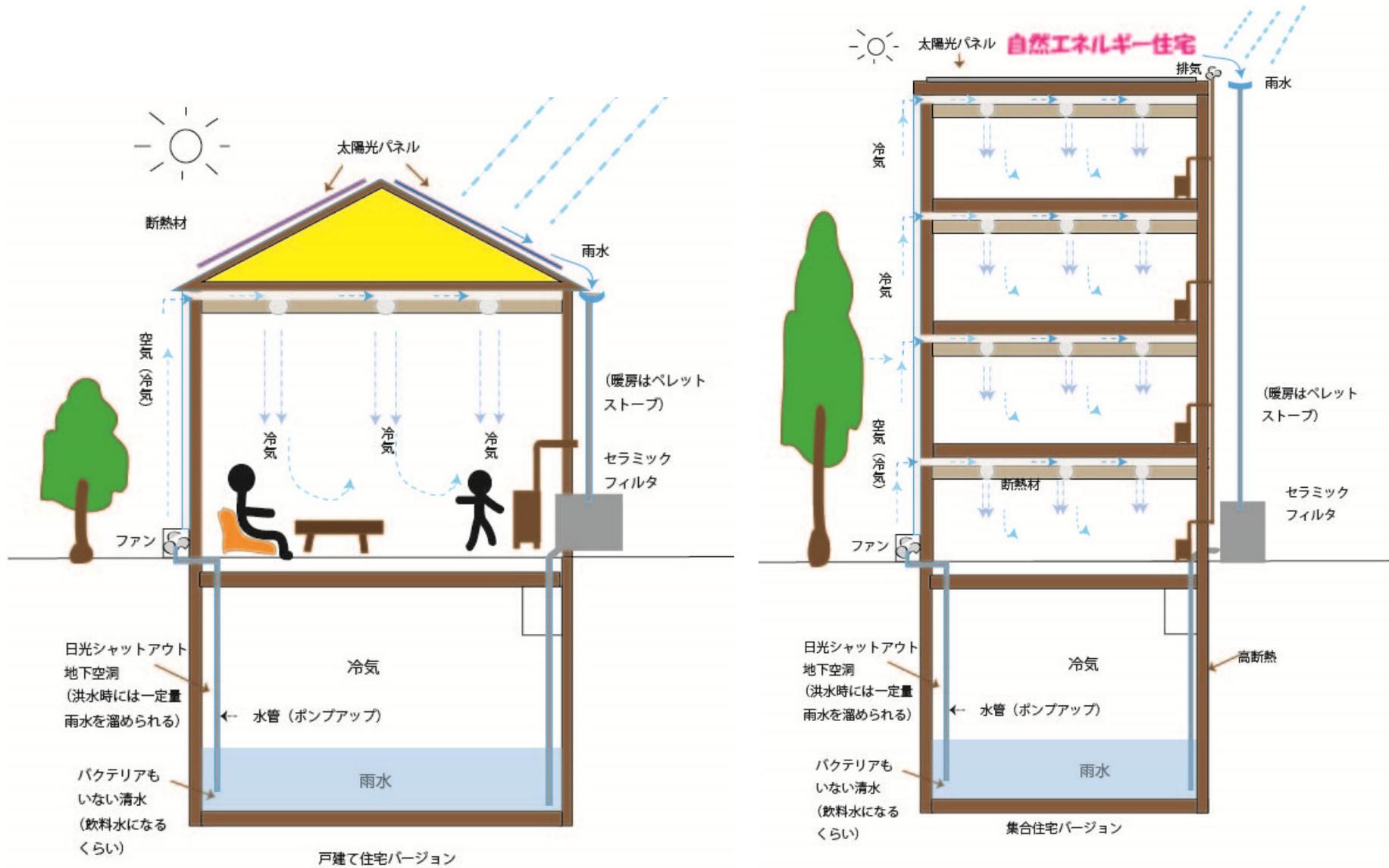
都市部のオフィスで火を感じられる、ペレットストーブ。



ペレットやチップの高付加価値化



自然エネルギー住宅の提案



来たれ！ 林業女子！



データ送信
施業管理
地形情報
etc

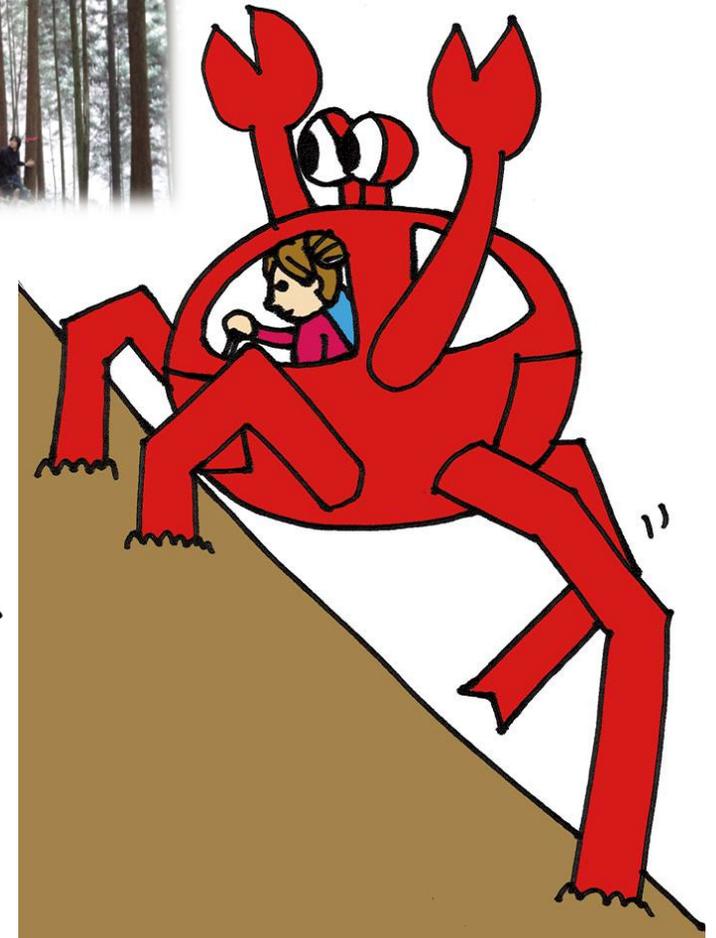


座席は常に
水平

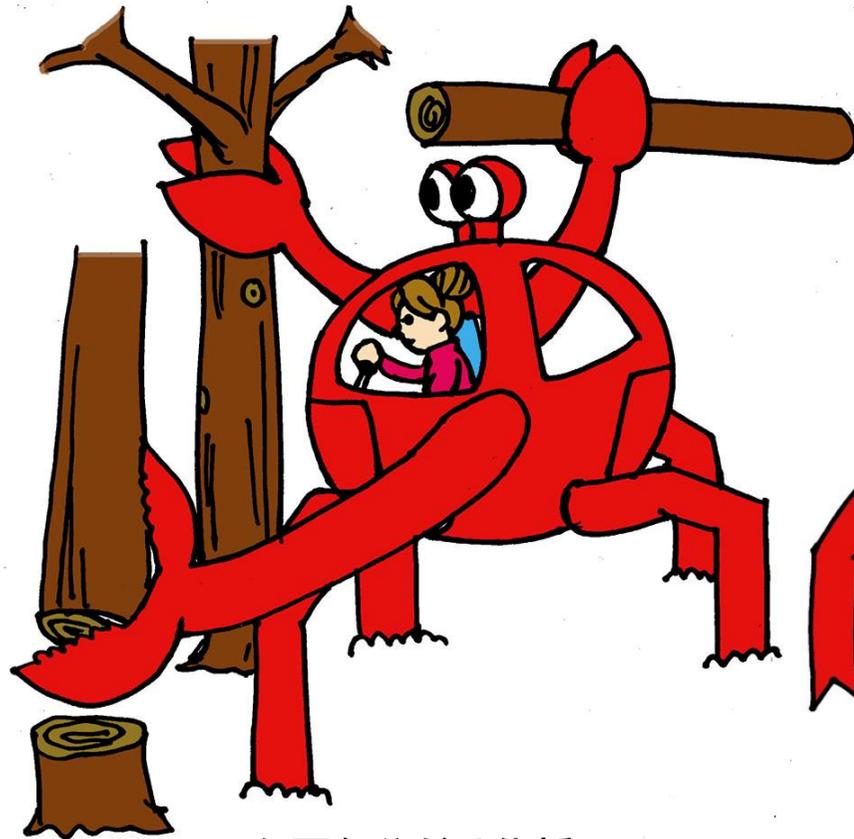


操縦席は
冷暖棒完備
快適な環境

急斜面でも落ちない
カモシカのような蹄



来たれ！ 林業女子



必要な分だけ伐採
枝払いなど
同時にできる

- ・林業機械化に、最先端技術を投入
- ・ロボットスーツで作業etc



山で乾燥。
必要なだけ瞬時に皮
をむいて、材を運ぶ

普段は林業で、
災害時の救援
ロボットとして
活躍！

国際総合山業(さんぎょう)大学

- 「山」を多様・多面的に捉え、山で山について技術と知識を身に着ける
 - 様々な資格取得
 - 知識としての「山学」
 - 最先端ロボット技術
- 資源の宝庫である山で業をつくるためには人材育成機関が必要
- 山愛の町で塾を開く
 - 山を愛する町が集まる「山愛の町サミット」の開催
etc

- 総合山学(さんがく)
 - 自然としての山
 - 生態系としての山
 - 地質・地形的山
 - 文化・芸術としての山
 - 歴史・民俗から捉えた山
 - 宗教・信仰としての山
 - 産業としての山
 - 林業・農業・水産業・鉱業・観光業・教育産業・医療産業・製造業・木材関連・食品関連・エコエネルギー生産……

身近な暮らしから木質バイオマス利用をカスタマイズ まとめ

・木と火のある暮らし。楽しく豊かな暮らし、そして災害にも役立つものを、様々な形で提案していきます。

・都市に住む人や、お店に、具体的な提案ができれば、巨大なボイラーや発電所のように大きなものでなくても、爆発的にマーケットが広がる可能性があります。

・わたしたちは、山(林業)の問題を解決するほどの力はありません。ただ、魅力ある山村の暮らしにあこがれる人のニーズに合わせる一カスタマイズした商品を提案していくことはできます。

・魅力的な商品であれば、いつかはそこを訪れたいという人を増やすなど、山村の新たな魅力を創り出せると思います。

・林業はこれからはロボット技術の活用、ではないかと思います。女性でも活躍できる林業のカタチはあるはず。労働生産性を上げる、家具や家が売れる、建築廃材を燃料に活用する、そういう循環もできるはずです。

・そのためにも、きちんとした技術を身に着ける人材育成機関が求められると思います。

ありがとうございました。